

脚立・はしごからの転落に注意！

この時期は、大掃除などで脚立やはしごを使う場面が増えてきます。高齢の人は特に転落事故に注意しましょう。

暮らしの サポーターコーナー

★消費生活センター業務時間

受付時間・場所

月～金

来所：9時～16時

電話：8時30分～17時

市役所中央棟1階

消費生活相談室 ☎574-2233

庭木の手入れや荷物の整理など、脚立やはしごを使用した作業中にバランスを崩すなどして転落する事故の情報が寄せられています。その半数以上が60～70歳代です。加齢により身体・認知さまざまな面での機能の衰えがみられ、複数のことを同時に行うことが難しくなってきました。また、転落事故による骨折などがきっかけとなり、介護が必要になることも考えられます。大掃除で脚立やはしごを使用する場合は転落に注意して慎重に作業してください。

事故事例

▼洗面所の電球を交換しよう

うと脚立に上った際に転落した。右足を骨折し手術をすることにいった。

▼庭の柿を採ろうとしてはしごに上がったところ、バランスを崩し転落した。骨盤や大たい骨を骨折し入院することになった。

事故防止事例

▼転倒を防ぐ安定性補助器具を付けた製品があります。

▼踏板を広げた脚立や、作業時に手で支えられる上枠付の製品があります。

消費者へのアドバイス

- ①人に頼むなど、脚立やはしごをできるだけ使用しない方法を考えましょう。
- ②一人きりで作業しないようにしましょう。
- ③ヘルメット、動きやすい服、滑りにくい靴などを準備しましょう。
- ④確実に設置し、正しい姿勢で使用しましょう。
- ⑤転落した場合は医療機関を受診しましょう。

地域の魅力 ふる里再発見



ちやうすやま 茶白山北遺跡と越前焼

伊達氏梁川遺跡群
企画展開催中

1/27 月まで
保原歴史文化資料館



越前焼

保原歴史文化資料館で開催中の企画展「陸奥国守護所 梁川城から桑折西山城へ」の中に、茶白山北遺跡の展示コーナーがあります。茶白山北遺跡は、梁川中学校移転改築事業に伴い、平成7年度から16年度にかけて調査や整理作業が行われました。

調査の結果、数多くの遺構や多種多様な出土品がありました。調査区は東側と西側に分かれ、東側からは寺院跡・関連墓地が発見され、隣接する東昌寺（茶白山西遺跡）との関連が考えられます。西側には6～8軒の武家屋敷が存在してい

たほか、商人や職人の家屋納屋・作業小屋などがありました。また、建物の配置から宗教施設と考えられる区画があり、梁川城（伊達氏居館）に付属する武家屋敷・町割りなど城下の姿がわかります。

出土品の中には、いわゆる「中世の古窯」と呼ばれる瀬戸（愛知県瀬戸市）や常滑（愛知県常滑市）・越前（福井県丹生郡越前町）、中国で生産された陶磁器が数多くあります。

茶白山北遺跡から出土した越前焼は、平安時代後期に常滑焼の影響を受け、福井県丹生郡周辺で生産が開始されたものです。越前焼の消費地は、日本海沿岸と考えられており、茶白山北遺跡での出土（15世紀前半の製品）は、梁川から置賜地方（山形県の内陸部南部）を経て、越後国（現在の新潟県）との交易ルートが確立していたことを物語っています。